



MEBIC
CREATIVE NETWORK CENTER OSAKA

2015年11月19日

my home town
わたしのマチオモイ帖
News Release

東日本大震災をきっかけに始まった『わたしのマチオモイ帖』展示会
松下 計(東京芸大教授)、福島 治(東京工芸大教授)らを招き、11/26特別イベント開催
「クリエイター個人が、“町”をテーマに発信する意味やその可能性とは」

～来年3月の大阪展開催を前に、日本を代表するクリエイターらが語る、マチオモイ帖の魅力～

クリエイター*支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史)と、わたしのマチオモイ帖制作委員会は、2016年3月に予定する『my home town わたしのマチオモイ帖』大阪展(現在、新作募集中)を前に、11月26日(木)、東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区)で特別イベントを開催します。当日は作品展示のほか、東日本大震災をきっかけに始まった『マチオモイ帖』のこれまでを振り返り、その意味や可能性を、ゲストの松下 計氏(東京芸大教授)、福島 治氏(東京工芸大教授)らとともに探ります。

*クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

■誰もが足元を見つめ直した2011年、マチオモイ帖は誕生した。

2011年3月に発生した東日本大震災は、多くの日本人が家族や友人、地域社会との繋がりなど、自分を育ててきた、当たり前にあると思っ込んでいたものを、あらためて見つめ直すきっかけとなりました。その年の5月に初めて大阪で開催した「わたしのマチオモイ帖」展示会。クリエイター個人が、それぞれ思い入れのある町やそこに住む人への想いを冊子や映像に綴った、34の「マチオモイ帖」は大きな反響を呼び、その後展示会を重ねるごとに共感が広がり、この間集まった作品は1000帖以上。2013年には新しい地域資源を発見するプロジェクトとして、グッドデザイン賞受賞。5年連続、ゆうちょ銀行のカレンダーに採用されるなど、その認知度は年々高まっています。



日本中がマチオモイ2015 大阪展(2015年3月)

■マチオモイ帖が、日本の地域再生や活性化の一助に

今回の特別イベントでは、コミュニティ・スペース「Earth & Salt」も展開するグラフィックデザイナー松下氏と、“デザインにおける社会貢献”をテーマにソーシャルデザイン活動に実績をもつ福島氏から、マチオモイ帖の意味や可能性について客観的なご意見を伺います。東京で開催する当イベントを通して、来年3月の大阪展開催に向け、新たに参加するクリエイターを広く募集。引き続き、クリエイターから始まった「マチオモイ帖プロジェクト」が、日本の町の魅力を再発見し、ひいては日本の地域再生や活性化に繋がっていくことを期待しています。



ゲストスピーカー(左)松下計氏、(右)福島治氏

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 広報担当:松井
〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F
TEL:06-6316-8780(平日10:00~21:30) FAX:06-6316-8781 e-mail:info@mebic.com
ホームページ: <http://www.mebic.com/>
マチオモイ帖プロジェクトに関する詳細情報は、以下を参照ください。
わたしのマチオモイ帖ホームページ <http://machiomoi.net/>

■デザイナーからの発信～マチオモイ帖に見るその広がりと可能性～

日時:2015年11月26日(木)19:30～21:00(終了後、別会場にて懇親会を予定)

会場:東京ミッドタウン・デザインハブ インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
(東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F)

出演:松下 計氏 松下計デザイン室 Earth & Salt 主宰 東京芸術大学教授

福島 治氏 福島デザイン主宰 東京工芸大学教授

清水 紘行氏 aozora代表 わたしのマチオモイ帖制作委員会 大阪芸術大学客員教授

参加費:無料(懇親会は有料)

申込:<http://www.mebic.com/event/5394.html>

問合せ:クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町

TEL:06-6316-8780(平日10:00～21:30) e-mail:info@mebic.com



松下 計氏 松下計デザイン室 Earth & Salt 主宰 東京芸術大学教授

1961年横浜生まれ。東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。同大学院修了後、松下計デザイン室設立。現在、同大学デザイン科教授。主な仕事に、ドイツ・ハノーバー国際万国博覧会日本館シンボルマークおよびロゴデザイン、ベネッセアートサイト直島の島内サイン、パンフレット、ウェブサイトディレクション、2016年東京オリンピック誘致用コンセプトブックディレクション、ホルベイン工業および東京芸術大学による共同開発油絵の具「油一」ブランディング、21_21 DESIGNSIGHT企画展カタログディレクション、竹尾ペーパーショウ2009アートディレクションなどがある。JAGDA新人賞、ADC賞、文部科学大臣賞、グッドデザイン賞受賞。



福島治氏 福島デザイン主宰 東京工芸大学教授

1958年広島生まれ。日本デザイナー学院広島校卒。浅葉克己デザイン室、ADKを経て、1999年福島デザイン設立。デザインによる寄付サイト「GIFTHOPE」、被災地支援プロジェクト「unicef祈りのツリー」「JAGDAやさしいハンカチ」など、デザインにおける社会貢献の可能性を探求、実践する。世界ポスタートリエンナーレトヤマ・グランプリ、メキシコ国際ポスタービエンナーレ第1位、カンヌ広告フィスティバル・金賞、ブルガリアポスタートリエンナーレ第3位など国内外の30以上の賞を受賞。TDC、JAGDA、AGI会員。



清水 紘行氏 aozora代表 わたしのマチオモイ帖制作委員会 大阪芸術大学客員教授

大阪生まれ。「すべてはデザイン」という考え方で横断的にデザインプロジェクトを実践する。APEC奈良観光大臣会合レセプションインタラクティブデザイン、グランフロント大阪 ナレッジキャピタルVIデザイン、「my home town 私のマチオモイ帖」「デザインマルシェ」「Social Propose クリエイターが社会に対してできること」ディレクター、東北グランマのXmasオーナメント、フクシマオーガニックコットン等の復興支援プロジェクト等、個展「ステカン展」。CSデザイン賞大賞、NY ADC特別賞、グッドデザイン賞、キッズデザイン賞受賞。(公社)日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)運営委員、大阪芸術大学デザイン学科客員教授。

■「わたしのマチオモイ帖」2016 公募要項抜粋 詳細は添付の資料をご参照ください

「my home town わたしのマチオモイ帖」2016 <大阪展>

会期:2016年3月4日(金)～3月29日(火) 会期中無休 平日 11:00～21:00 土日祝 11:00～19:00

会場:クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 (大阪市北区扇町2-1-7 カンテレ扇町スクエア3F)

入場料:無料

事前エントリー受付期間:2015年10月1日(木)～2016年1月20日(水)

作品提出期間:2016年2月5日(金)～2月19日(金)

参加資格:プロのクリエイター、またはプロのクリエイターを含むグループ

募集部門 1.ミニブック部門 2.ムービー部門

■マチオモイ帖とは

「マチオモイ帖」は、日本各地のクリエイターが、生まれ育ったふるさとや学生時代に過ごした町、今暮らす町など、思い入れのある町やそこに住む人への想いを、写真やイラスト、文章などで綴った冊子や映像の総称です。2011年、大阪在住のコピーライター村上美香氏が故郷「広島県尾道市因島重井町」をテーマに制作した『しげい帖』がクリエイターの間で共感を呼び、同年メビック扇町で34作品の展示会を初開催。今では全国から約1000帖が寄せられる一大プロジェクトに発展しました。また、この“マチを想う”というアプローチが、全国約24,000箇所、人口減が著しい離島や過疎地にも点在する郵便局に通じることから、2013年より、ゆうちょカレンダーの共同制作が続いています。

